

豪州 -予想外の利下げ-

<0.25%の利下げを決定>

2月3日、オーストラリア準備銀行（以下、RBA）は政策金利を0.25%引き下げ、2.25%とすることを決定しました。今年に入ってカナダやユーロ圏など米国以外の国々で利下げが行われましたが、オーストラリアもそれに続いた格好です。

声明文では、RBAが景気・物価に対して慎重な姿勢であることが示されました。経済成長率がトレンドを下回る期間が予想よりも長めとなる可能性があることや失業率が高めとなっていることが指摘されました。また、労働コストが抑制されていることから、通貨安の中でも物価の目標に沿った推移を予想していることが示されました。また、これまで豪ドル安が進んできたものの、資源価格が大幅下落しており、豪ドルはファンダメンタルズ面から依然として高いという認識が示されました。

<豪ドルの推移>

資源価格の下落や利下げ観測が高まっていたことなどを背景として豪ドルは軟調な推移が続いてきました。

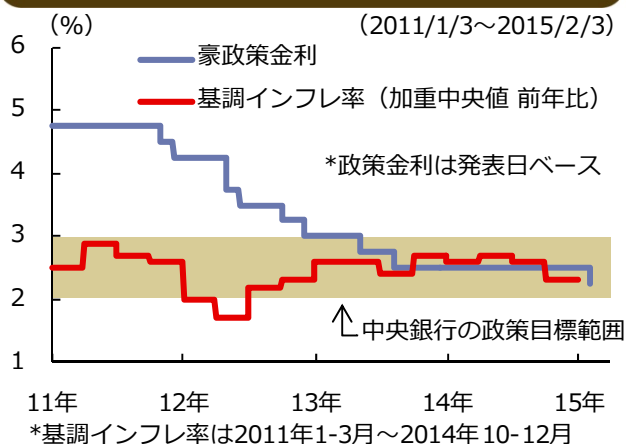
オーストラリアの利下げ観測が高まっていたものの、今回は利下げには至らないという見方も多く、RBAの利下げ決定を受け、豪ドルは一段安となりました。2月3日東京時間午後1時現在、1豪ドル=0.766米ドル、1豪ドル=89.85円となっています。

<為替見通し>

声明文で住宅価格の過熱に関してRBAが警戒を続ける一方、利下げの打ち止め感が示されておらず、先行き不透明感から短期的に豪ドルの調整局面が続く可能性がある点には注意が必要です。

ただし、今回の声明文は今後の金融政策の方向性について判断するには内容が乏しく、今後の金融政策や豪ドルの方向性を判断するにはRBAのより詳しい見通しの発表される6日を待つ必要があると思われます。

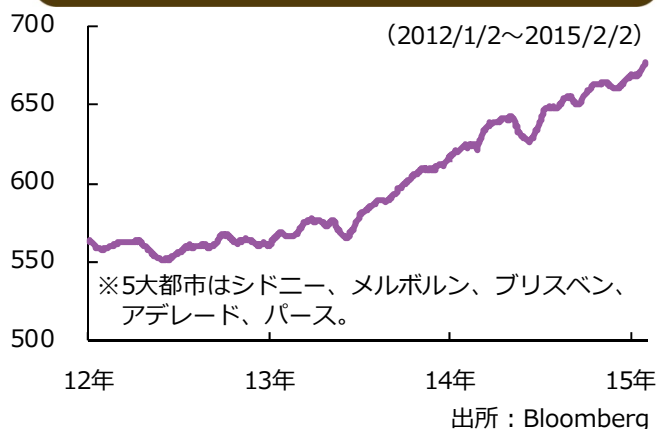
<政策金利とインフレ率の推移>



<豪ドルの推移>



<豪州 5大都市 住宅価格指数>



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等　：大和証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会